

第195回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1 [丸数字は予想配点、合計44点]

問1

予防コストの割合 [㉓ 19] % 評価コストの割合 [㉓ 21] %
 内部失敗コストの割合 [㉓ 34] % 外部失敗コストの割合 [㉓ 26] %

問2

予防コストの割合 [㉓ 34] % 評価コストの割合 [㉓ 15] %
 内部失敗コストの割合 [㉓ 21] % 外部失敗コストの割合 [㉓ 30] %

問3

前期に比べて当期は予防コストを15%増加させ、内部失敗コストを13%削減しているが、評価コストが6%減少したことにより、外部失敗コストが4%増加している。㉓

問4

機会損失を含めた場合の前期の品質コスト総額の増加割合 [㉔ 52] %
 機会損失を含めた場合の当期の品質コスト総額の増加割合 [㉔ 60] %

問5

品質コスト総額が前期に比べて8%増加し、機会損失も増加していることから、中長期的な企業の収益性を悪化させているため、品質管理活動は悪化しているといえる。㉔

問題2 [丸数字は予想配点、合計40点]

問1

資本コストとは、企業に投下されている資本1円当たりに要求される利益率である。⑥

問2

名称 (④ 税引後加重平均資本コスト) 数値 [④ 6] %

問3

1年度 [② 0.943] 2年度 [② 0.890]
 3年度 [② 0.840] 4年度 [② 0.792]

問4

パターンAのもとでの正味現在価値 [⑥ 1,272,785] 円

パターンBのもとでの正味現在価値 [⑥ 1,378,415] 円

問5

キャッシュ・フロー総額が同じ投資案でも、資本コスト率を用いて割引計算を行えば、キャッシュ・フローの回収時期が早い投資案が有利となるため、投資意思決定の判断に役立つといえる。⑥

問題3 [丸数字は予想配点、合計16点]

問1

① [④ 4,450,000] 円 ② [④ 4,100,000] 円

問2

① [④ 1,280] 円 ② [④ 320] 円